



コロナウイルスに負けない免疫力を！

## 新型コロナウイルス (COVID-19) 感染を正しく恐れる

COVID-19の感染拡大以降、PCR検査の新規陽性者数が毎日公表され、その増減から目が離せないという方も多いと思います。私達はこの数字をどの様に受け止めればよいのでしょうか。

国際医療福祉大学教授の高橋泰先生によりますと、新型コロナウイルスに対して様々な医療機関において、重装備で患者さんに接する医療従事者の姿が報じられたり、感染した有名人の訃報が伝えられ、感染したら命に係わる恐ろしいウイルス！という『コロナ観』が広まってしまったのではないかと考えられるだろう。しかし、COVID-19に関するデータを見ていくとその様な『コロナ観』では説明のつかない数字が見えてきている。日本は、諸外国に比べて死亡率や抗体陽性率も極めて低いこと。無症状の患者さんも多いことなど。

そこで先生は、この全体像が見えるモデルを作る必要があると考え、【新型コロナウイルス7段階モデル】を作成されたそうです。

ここではその詳細は割愛しますが、感染者数、重症者数、死者数の推移からもかなり実態に即しているとのことでした。

また、諸外国での論文内容から、新型コロナウイルスはインフルエンザウイルスに比べて弱毒性であり獲得免疫が発動するまでに時間がかかり、抗体が出来るまでに自然免疫で処理されてしまうのではないだろうか？という仮説を立ててみると、様々な研究の解析も納得がいくとのことでした。

新型コロナウイルスは体内に入り込もうとする暴露力は高い反面、毒性や細胞内での繁殖力は比較的弱いと考えられ、ほとんどの人（日本人）が感染しても軽症や無症状なのではないか？という事です。そのようなことから、今後期待されるのはいかに重症化を食い止めて治療させるか、という部分です。COVID-19の感染と重症化パターン、世代によるリスク差に合わせた対応が望まれるということではないのでしょうか。様々な研究がなされる中、重症化マーカーの指標を見つけていけると良いのではないかと感じました。

日本糖尿病協会誌 さかえ より



空気が乾燥し朝晩の冷え込みが増してきましたね。秋は、鼻・喉の粘膜から風邪をひきやすくなります。しっかり潤すために、季節の果物＝梨がおススメです。梨は渴きを潤し、咳や痰を鎮めます。その他、柿・銀杏・栗なども肺に働きかけて咳を止める効果があります。旬の食べ物の恩恵に感謝して、防御しましょう。



今年のお月見は10月1日  
月が綺麗だと嬉しくなりませんか？  
あ、私だけでしょうか？  
(▽)

10月1日は行事食！  
患者様の昼食は  
お月見ハンバーグです  
お楽しみに！



10月1日は珈琲の日との事なのですが、ご存知でしたか？私実は珈琲好きでして、毎朝ハンドリップで嗜んでおります。(≥▽≤)

挽きたての豆を淹れると、豆が喜んでいるのが伝わってくるんですよ～！当院の近くに以前、ハーバー珈琲店があり、その岩槻ブレンド、良く飲みました！ご当地ブレンドをオリジナルで作っているお店なんです。ああ、懐かしいです。

また飲みたいなあ～！

小林

豆はやはり挽きたてが1番です (●^o^●)